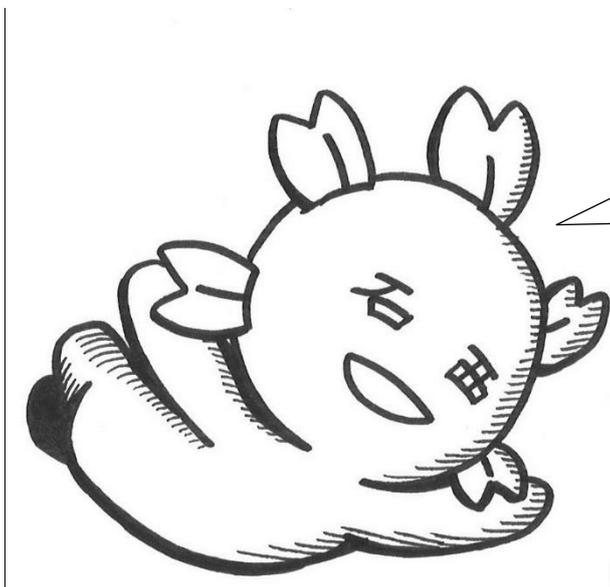


# 令和7年度 第1回進路説明会

令和7年6月13日(金)

練馬区立石神井西中学校



都立高校と私立高校の  
入学選抜制度の概要を  
中心にお話します。

3年	組	番	氏名
----	---	---	----

## 目次

項目	ページ
1 進路選択とは	P.2
2 令和7年度進路指導年間計画	P.3~4
3 中学校卒業後の進路区分 就職について	P.4~5
3 中学校卒業後の進路区分 進学について	P.6
3 中学校卒業後の進路区分 進学について 都立高校	P.6~8
3 中学校卒業後の進路区分 進学について 私立高校	P.8~9
3 中学校卒業後の進路区分 進学について 国立高校・高等専門学校・高等専修学校・サポート校	P.9~10
4 学校説明会、学校見学、体験入学、個別相談について	P.10
5 Q&A	P.10~11
参考資料	P.12~16

### 1 進路選択とは

進路を考える上で大切にしてほしいこと：「自分の進路を自分の言葉で説明できる。」

- 自分の強みは何か。どのように伸ばすか。
- なぜその進路を選択するのか。
- どこで、どのようにして自分を成長させるのか。
- どのような生き方をしたいのか、どのような職業につきたいのか。
- 自分の性格、適性は何か。
- 自分の能力や学力はどのくらいなのか。
- 自分だけで解決しようとしな。家族の考えや学校のアドバイスをよく聞き、よく話し合う。
- 進路選択の最終決定は生徒本人の意志が大切である。生徒の意志を十分に尊重し、保護者と相談した上で、進路選択、決定する。

## 2 令和7年度進路指導年間計画

月	日	進路指導、テスト	家庭での取り組み(◇:生徒、○:保護者)
4月	17日(木)	全国学力学習状況調査	【基礎固め期】
6月	5日(木)	第1回復習確認テスト	授業の予習、復習を大切にする。
	13日(金)	第1回進路説明会	1、2年生の内容の復習を行う。
	16日(月)	第1回進路希望調査配布	
	18日(水) ~20日(金)	1学期期末考査	◇○進路決定までの流れをつかむ。 ○子どもの進路希望と適正を考える。
	26日(木)	第1回進路希望調査メ切	◇○家庭学習の習慣をつけ、環境づくりを行う。
7月	9日(水)~	第1回三者面談	◇○現時点での学力を正しく認識し、今後の取り組み方を話し合う。
	3日(木)~ 9月17日(水)	ESAT-J 申込期間 ※配慮申請は9月5日(金)まで	◇○子どもの希望を確認して、保護者や先生のアドバイスを受け、進路の方向づけをする。
8月		高校訪問、学校説明会、 個別相談会などへの参加	【実力養成期】 今までの内容の総復習を行う。
9月	1日(月) ~5日(金)	二者面談	不得意科目の克服を重点的に行う。 会場模擬テストなどで、入試の雰囲気慣れる。
	26日(金)	第2回復習確認テスト	
10月	10日(金)	第2回進路希望調査配布	◇○希望の進路について、具体的に話し合う。
	16日(木)	第2回進路希望調査メ切	◇○志望校の行事、説明会、学校見学などに積極的に参加する。
	20日(月)	第2回進路説明会	
	24日(金) ~31日(金)	第2回三者面談	◇○推薦希望者は三者面談で相談をする。 ◇三者面談は、志望校を決める大切な面談となる。 人任せにせず、自分の意志をもって取り組む。
		受験用証明写真撮影	◇○入試関係の書類を手に入れる。 ◇受験用証明写真を撮影する。(学校で撮影、購入できる。)
11月	5日(水) ~7日(金)	2学期期末考査	◇○担任との連絡を密にして、手続きや書類のミスがないように注意する。
	14日(金)	第3回進路希望調査配布	
	20日(木)	第3回進路希望調査メ切	
	23日(日)	ESAT-J 本試験日	◇○出願の方法をよく確認しておく。
	27日(木)	進路判定会	○入試に関わる費用(受検費用や入学金等)の準備を行う。
12月	1日(月) ~8日(月)	第3回三者面談(最終) 推薦入試願、併願優遇願、 調査書作成願等の配布	
	9日(火)	推薦入試願、併願優遇願等メ切	
	14日(日)	ESAT-J 追試験、再試験日	
	15日(月)~	入試相談(推薦入試、併願優遇)	
	19日(金)~	都立高校インターネット出願サイト 「miraicompass」の利用開始	
		出願書類作成、面接練習、 自己PRカード作成、調査書作成	

月	日	進路指導、テスト	家庭での取り組み(◇:生徒、○:保護者)
1月		私立高校推薦入試 出願、入試、発表、手続き	<b>【総仕上げ】</b> 過去問などをチェックして、直前の対策を行う。  ◇○規則正しい生活を意識し、体調を崩さないように気を付ける。 ◇推薦入試などで早めに進路先が決まっても、高校入学まで気を抜かず学習を続ける。 ◇○出願は必ず期限内に提出できるように、よく確認しておく。 ◇最後まで諦めずに進路選択を行い、卒業式まで意識を高めたまま、学校生活を送る。
		私立一般入試出願	
	12月19日(金) ~1月16日(金) 午後5時	都立推薦入試志願者情報 入力期間(miraicompass)	
	7日(水)	ESAT-J 結果返却(WEB上)	
	9日(金) ~16日(金)	都立推薦入試書類提出期間	
	26日(月) 27日(火)	都立推薦入試	
2月	12月19日(金) ~2月5日(木) 午後5時	都立第一次募集及び分割 前期入試志願者情報入力 期間(miraicompass)	
	1月30日(金) ~2月5日(木)	都立第一次募集及び分割 前期入試書類提出期間	
	2日(月)	都立推薦入試合格発表、手続き	
		私立一般入試、合格発表、手続き	
	21日(土)	都立第一次募集及び分割 前期一般入試	
	24日(火)	3学期期末考査	
3月	2日(月)	都立第一次募集及び分割 前期一般入試合格発表、手続き	
	5日(木)	都立分割後期募集及び全日制 第二次募集入試出願受付	
	10日(火)	都立分割後期募集及び全日制 第二次募集入試	
	13日(金)	都立分割後期募集及び全日制 第二次募集入試合格発表、手続き	
	23日(月)	定時制第二次募集入試出願受付	
	26日(木)	定時制第二次募集入試	
	27日(金)	定時制第二次募集出願合格 発表、手続き	

### 3 中学校卒業後の進路区分

中学校卒業後の進路には複数ありますが、自分の将来や家庭の事情などをよく考え、慎重な態度で決めていくことが大切です。最終的には、生徒自身が決めることとなりますが、ご家庭の考え方や保護者の意見などのアドバイスを受けながら、よく時間をかけて話し合いを進めてください。

## ○ 就職について

中学校の教員が職業斡旋の委嘱を受けています。中学校の教員がハローワーク(旧職業安定所)と就職を希望する生徒に関して連絡を取ることになっています。ハローワークを通した新規中卒者求人は厳しい状況で、縁故による就職が大半です。

### (ア) 職業の選択にあたって

自分の性格や趣味など、自分についてよく理解し、周囲の人たちの意見も参考にして決定することが大切です。

- 仕事の内容が詳しくわかっているか。
- 能力、体力、希望に合っているか。
- 賃金や労働時間はどうなっているか。
- 資格を必要とする職業かどうか。
- 昇級や昇進など将来の見通しはどうなっているか。
- 働きながら定時制高校・通信制高校に進学できるか。

### (イ) 就職を選ぶ人が身に付けておくべきこと

- 中学校での学業を最後までしっかり身に付けておくこと。
- 正しい言葉遣い(特に敬語)や礼儀作法を身に付けておくこと。
- 人の手を借りず自分の身の周りの始末は自分でできること(朝の起床など)。
- 自分の仕事に責任をもつこと。
- ルールや決まりを守ること。

### (ウ) 就職までの流れ

11月下旬から12月上旬に、いろいろな会社の求人状況がハローワークを通して発表されます。就職したい事業所が決まったら、見学に行き、仕事の内容、賃金、勤務時間、通勤、福利厚生、働きながら定時制高校等への進学ができるかなど、慎重に考え決定します。1月1日以降、各会社の採用試験(統一選考)が始まります。面接や適性検査あるいは学科、作文などが行われます。

**就職を考えている人は、保護者・担任とよく相談し、早めにご連絡ください。**

### (エ) 都立職業能力開発センターについて

現在13校の職業能力開発センターがあり、社会から要求される中堅技能者の養成を行っています。特に学歴は問われませんが、一部科目においては高等学校卒業程度の基礎学力が必要になります。修業年限には2ヶ月、6ヶ月、1年、2年とさまざまです。また、働きながら技術の向上をめざす人にはキャリアアップ講習(短期)もあります。また、推薦入校の制度もあります。一般選考については、例年2月上旬に、学力検査(国語・数学)、面接等があります。職業能力開発センターは、一部科目において授業料が有料となります。また、教科書代、作業服代についても自己負担となります。修了者には職業能力開発センターやハローワークが、積極的に就職の斡旋をしてくれます。

詳しくは、東京都職業能力開発センター公式サイト(TOKYO はたらくネット)で確認できます。

### (オ) 資格の必要な職業

職業の中には資格や免許がないと就職できないものがあります。中学校卒業資格でとれる代表的なものは、美容師、理容師、クリーニング師、調理師、溶接士、2級建築士、ボイラー技師、3級自動車整備士等が挙げられます。

## ○ 進学について

進学とは、上級の学校などに在籍して、学ぶことを選択・決定することです。志望校を選ぶには、次のようなことを考える必要があります。

- 将来の進路(職業)と結びつけて考える。
- 自分の適性に合っているか考える。
  - 学力  校風  自分のやりたいこと  通学時間、通学環境、地域環境
  - 全日制か定時制か通信制か  普通科か専門学科かその他の学科か
  - 都立高校か私立高校か国立高校か  男女共学か別学か など
- 経費について確認する。
  - 入学時に必要な金額  1年間の必要経費  その他

### (ア) 都立高校

#### ➤ 課程

- 全日制…朝から午後までの日中に授業があります。
- 定時制…夜間(または定められた時間帯)に授業があります。定時制の修業年限は原則4年間ですが、高校卒業後の資格は全日制と変わりません。昼間の定時制もある。定時制高校は、就職した生徒に対し、高校教育の機会を与えることからスタートしましたが、最近では、勤労学生より、高校を中退した10代、20代の方が高校卒業資格を求めて入学するというケースが増えています。また、昼間の定時制高校の人気が高くなっています。
- 通信制…月に数回登校し、その他は自宅等で学習をします。

#### ➤ 学年制と単位制

- 学年制…学習する科目が学年ごとに定められています。
- 単位制…学習する科目は学年の区別はありません。必修科目と自分の選択した科目について、その学習成果が認められると単位が与えられます。卒業までに必要な単位を取得すると卒業できます。

#### ➤ 学科

- 普通科、普通科コース制…大学、短大、専門学校への進学や就職など、幅広い進路に対応しています。中には外国語コースや美術コースといった、特定の科目について一般よりも多く履修できるものもあります。
- 農業に関する学科…農業生産物の栽培や飼育を通して、専門的な知識(園芸、畜産、動物、食品、環境)を学習します。
- 工業に関する学科…ものづくりの技術やハイテク技術など専門的な知識(機械、電気、化学、建築、工芸)を学習します。企業で長期就業訓練を授業として受けることができる学校もあります(デュアルシステム科)。
- 科学技術科…豊富な実験や研究を通じて、科学技術を学習します。
- ビジネス科、商業科…経理や情報処理、ビジネススキルなどの商業分野を学習します。
- ビジネスコミュニケーション科…実践的なビジネス科目や英語を学習します。
- 産業化…生産、流通、消費の各課程の関連性を学習します。将来の起業家の育成を目指します。
- 総合学科…幅広い選択科目の中から、自分の特性や進路希望に合った科目を選択し、系統的、専門的に学習します。

その他にも、さまざまな学科があります。

➤ 多様な教育活動を行う学校

- チャレンジスクール…主に小中学校で不登校の経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジする高校です。昼夜間の定時制、総合学科、単位制の高校です。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯（午前、午後、夜間の三部）を選んで入学できます。
- エンカレッジスクール…小中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、勉強や学校行事、部活動などを通して学校生活を充実させる全日制の高校です。
- 進学指導重点校…難関国立大学や国公立医学部医学科への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。
- 進学指導特別推進校…国公立大学や難関私立大学等への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。
- 英語教育研究推進校…生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために英語教育の推進に重点を置く学校です。

その他にも、さまざまな特色ある教育活動を行う学校があります。

➤ 入試について

詳しい情報は、東京都教育委員会発行の「令和7年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」を7月頃、各家庭に配布いたしますので、そちらをご確認ください。

• 推薦に基づく選抜（1月）

推薦入試の選考は、調査書、集団討論や面接の結果及び推薦入学願書に基づいて、各学校が総合的にを行います。自己PRカードが面接資料として活用されます。また、小論文または作文・実技検査等を実施する高校はその結果も含みます。学力検査は実施しません。

**推薦入試による合格者の入学辞退、他校受検はできません。** 不合格の場合、一般入試を再受検することができます。

一般推薦は多くの学校で実施されます。他にも、文化・スポーツ等特別推薦を実施する高校もあります。

• 学力検査に基づく選抜（2月）

学力検査の得点と調査書等の得点と英語のスピーキングテスト(ESAT-J)の総合得点(1020点満点)で判定されます。なお、都立高等学校では、学力検査の得点と調査書点の合計(1000点満点)にスピーキングテストの点数を加え、総合得点(1020点)を算出します。学力検査の点数と調査点を合計するときの割合は、原則は7:3となります。

前期と後期の分割募集をする高校や特別選考を実施する高校があります。

学力検査(一次募集)では5教科(国・数・英・社・理)で実施し、500点満点とする学校が多数です。なお、傾斜配点をする高校、3教科を自校作成問題で実施する高校など、選抜方法が高校によって様々なので、注意が必要となります。

調査書点は、各教科の評定の合計を換算した点(換算内申)のことです。調査書点5科が1倍、実技4科が2倍で計算され、満点は65点となります。

スピーキングテスト(ESAT-J)は、AからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱います。

スピーキングテスト(ESAT-J)評価	A	B	C	D	E	F
都立高等学校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

➤ 出願について

都立高校インターネット出願サイト「miraicompass」による WEB 出願となります。詳しい利用方法は後日改めてご連絡いたします。

➤ 都立高校入試の実施方法の変更点について

- これまで全日制課程で実施してきた分割募集が廃止され、第一次募集で選抜することになります。昼夜間定時制では、これまで通り継続して分割募集が行われます。
- これまで4月上旬に行ってきた通信制課程の入試は、前期選抜と後期選抜の2回に分けて実施されます。前期選抜は、入試の時期をこれまでより早め、第一次募集と同じ2月下旬に実施します。後期選抜は、これまでと同様に4月上旬に実施します。

➤ その他

ここ数年で、都立高校の多様化が進み、新しいタイプの高校や新しい専門学科が開設されています。選抜の方法も高校ごとに異なっており、都立高校でも説明会を盛んに行うようになってきました。選択の幅が広がっているため、十分に調べ、慎重な進路選択が必要となります。

(イ) 私立高校

課程、学年制、単位制、学科など、基本的には都立高校と同じです。それぞれ学校の特色をよく見て検討する必要があります。

➤ 入試について

私立高校ごとに様々な入試形態があります。各学校の説明会での情報や、配布される募集要項をよく確認して臨むことが大切です。

• 推薦入試

大多数の高校で学力検査は行わず、中学校から送る書類(調査書・推薦書)・面接・作文等で合否の判定を行います。

1月中旬に選抜が行われ、1月下旬には合否が決定します。仮に不合格でも、一般入試は受験することができます。

推薦入試は、あらかじめ受験高校と中学校側との間で入試相談を行うことがあります。その場合は、高校側が示す条件を満たし、さらに合格後は必ずその高校に入学することが条件で優遇されます。これらの条件を満たして初めて出願を行うことができ、審査の結果合否が決まります。

高校によっては、推薦条件を明示し、入試相談を通さず、一般公募推薦のような形式で推薦入試を実施している高校もあります。そのような推薦入試は、高倍率となる傾向があります。

- 一般入試

一般入試は、特に条件なく受験するものと、下記のように条件をつけて優遇してもらうものの2通りがあります。

第一志望優遇	推薦受験ではないが、合格した場合、入学することを条件に優遇される制度です。受験時に第一志望であることを願書に明記すると、入試の得点に加点されます。そのための基準を示す高校もあれば、基準なしで第一志望受験者すべての者に加点する高校もあります。
併願優遇	他校を第一志望とするが、 <u>不合格になった場合は、その学校に入学するという約束が前提になった受験制度</u> です。推薦入試と同じように、3年生の12月の成績が〇〇以上で、遅刻・欠席日数が〇〇日以下、などの条件がつきます。条件は学校によって異なります。  受験校と中学校側で行う入試相談で高校側から出願が認められればかなり優遇される制度です。

私立高校は、他にも様々な入試制度があり、優遇する程度も様々です。年によって変わる場合もあるため、しっかり調べることが大切です。

推薦入試で募集人員の半分近くが合格し、あとの半分も上記のような制度を利用する受験生が多い学校は、何の優遇措置もなく受験する生徒にとって合格の難易度がかなり高くなってしまいます場合があります。

- スポーツ推薦制度について

中学校在学中に部活動等で顕著な成績を上げた者に対して、高校から入学の勧誘がある場合があります。この場合、極めて有利な扱いを受けることとなりますが、部活動を続けることが条件となり、途中でやめた場合、高校も退学しなければならない場合があります。また、全都・全国から選ばれてくるため、厳しい練習、競争が予想されます。高校側で決めた学力の最低基準をクリアできなければ不合格になるため、学業もおろそかにすることはできません。なお、部活動の顧問の先生や本人に連絡があっても、最終的には担任が手続きを行います。そのため、必ずその経過や結果を保護者の方や生徒本人から担任に伝える必要があります。

(ウ) 国立高校(国立大学附属高校)

筑波大学附属高校・東京学芸大学附属高校・筑波大学附属駒場高校などが挙げられます。一部通学時間などで制限のある学校があるため注意が必要です。ほとんどが国立大学の附属校となりますが、大学進学「優遇制度」はありません。ただし、東京工業大学附属科学技術高等学校は、東工大への特別選抜(約10名)があります。

出願は1月上旬、試験日は2月上旬にあり、科目は5教科であることが多いです。

## (エ) 高等専門学校(高専)

5年制で工業に関する専門的な深い知識を学ぶことを目的とし、卒業すると短大卒業資格があります。東京には、国立、都立、私立の高等専門学校があります。

国立高専	東京工業高等専門学校…機械工学、電気工学、物質工学、電子工学、情報工学
都立高専	産業技術高等専門学校 品川キャンパス…機械システム工学、AI スマート工学、電気電子工学、情報システム工学 産業技術高等専門学校 荒川キャンパス…情報通信工学、ロボット工学航空宇宙工学、医療福祉工学
私立高専	サレジオ高等専門学校…デザイン学科・電気工学科・機械電子工学科・情報工学科

## (オ) 高等専修学校

技術や資格をとる学校です。近年、高等専修学校が増加してきています。高等専修学校には通信制高校と連携し、卒業と同時に高校卒業資格を取得できる学校もあります。また大学入学資格文部科学省指定校となっている学校もあります。

高等課程…中学卒業者が対象。一般に高等専修学校と呼ばれている。

専門課程…高等学校卒業者が対象。一般に専門学校と呼ばれている。

一般課程…入学資格を問わない。

## (カ) サポート校

通信制高校と提携し、高校卒業資格を取得できる学校があります。

## 4 学校説明会、学校見学、体験入学、個別相談について

学校説明会、学校見学、体験入学など、実際に高校を訪問することで、通学方法や通学時間はどうか、標準服、校舎や施設、設備、授業の様子といった高校の特徴を自分自身の目で確認することができます。そのため、インターネット情報やパンフレット情報だけでなく、実際に学校を訪れて情報を得ることが大切です。

個別相談は、入学を希望する生徒に対して、高校が合格の可能性について相談してくれる場となるため、その高校に入学したい希望が強い人は、「個別相談」を受けると良いです。多くの私立高校で実施していて、事前に予約が必要な場合が多いです。

高校を訪れる際は、式服を着用し、公共交通機関を利用して行くようお願いいたします。

## 5 Q&A (保護者の方からの質問にお答えします。)

### ① AO入試や私立の推薦について細かく知りたいです。

AO入試は私立通信制高校のごく一部で行われています。本人の得意なことをアピールするという試験方法です。私立高校の推薦は、各校が定める内申基準等を満たしており、その学校が第一志望(単願推薦)である。本校の学校長が推薦をしているということが基本的な要素になります。

### ② 内申について詳しく知りたいです。

内申とは調査書に記載される中学校の各教科の評定値を合計したもので、素内申と換算内申があり、素内申とは評定をそのまま合計したもの、換算内申とは、5教科の合計に4教科の合計を2倍して足したものです。都立受検で使う「調査書点」とは換算内申を300点満点に計算したものです。

③ 都立推薦入試の受験校の決定時期はいつ頃ですか。

都立推薦入試の受験校を確定させるタイミングは、12月の三者面談が終わるまでには決定できるとよいです。(出願ギリギリまで決められないのはお勧めできません。)

④ 私立併願校の選び方を知りたいです。

併願優遇が取れば必ず受かるものなのですか。

併願優遇の規準が取れず、一般で受ける場合、偏差値が足りていれば合格できるものでしょうか。

私立併願校の選び方ですが、まず、自分の内申点から、併願優遇の基準に足りている学校をいくつか挙げます(基準は高校案内に載っています)。そして、実際に見に行き考えて下さい。学校訪問に来ていないと、優遇を受けられない学校もあります。

併願優遇の場合、入試の前に入試相談というものを中学校と私立高校側で行います。各校の定める基準に達していれば、非常に高い合格の可能性をお約束いただけます。ただし100%合格とは言えません。また、併願優遇を使わず、一般入試でも合格している生徒はおりますが、優遇制度で定員に近くなってしまう学校もあります。

⑤ 行きたい学校が決まったら、学校説明会には毎回参加した方が良いでしょうか。

説明会の内容に応じて参加すべきかご家庭で判断してください。高校の学校見学・説明会・個別相談会に行った際は、「参加した」という実績を残すため、高校で名前を書いていることを忘れないで下さい。個別相談などで高校の先生と直接話すチャンスがあるときは話をすると良いと思います。その際、加点措置についての説明などを受けた場合は、必ず担当の先生の名前をメモして下さい。

⑥ 最終的に進路を決めるのはいつ頃ですか。

最終的な決定は、第3回進路希望調査を提出するときです。

⑦ 個人面談以外で進路相談はできますか。その場合、どのように申し込めば良いですか。

基本的には面談の時間に行いたいと思いますが、それだけで足りない場合は担任に直接ご相談ください。電話よりは事前にお手紙などで内容を知らせて頂ける方が回答を準備してお答えできるので助かります。面談の前に各ご家庭でじっくり話をし、できるだけ質問やご家庭の考えをまとめてきて下さい。生徒自身が直接担任に相談に行くのも良いと思います。

⑧ 学校説明会など積極的に訪問した方がよいでしょうか。また、見てくる、聞いてくるポイントは何でしょうか。

説明会や見学会は積極的に参加した方が良いでしょう。見てくるポイントは、通学時間、通学手段、制服、学校の雰囲気、学校の施設・設備、生徒の様子、先生の様子など、行って感じることに全てです。

⑨ 今の成績から割り出した偏差値等で行けそうな学校をしぼった方が良いでしょうか。

今の成績で学校をしぼる必要はないと思いますが、目安としていくつか候補を考えるのは良いと思います。今後成績が上がる可能性もありますし、その逆もあります。偏差値というのはおそらく模試の結果に表れると思いますが、中学校では偏差値による進学相談を行うことはできませんのでご承知置き下さい。

⑩ 内申点と入試得点について知りたいです。例えば、オール4が基準とされている場合、3があっても5で補うことができるのでしょうか。また、内申点が基準に満たなくても、入学試験の得点が高ければ合格できるのでしょうか。

「全教科4以上」という出願基準がある場合、「3」の教科があると、たとえ「5」の教科があっても基準を満たすことにはなりません。「9科36」という基準の場合、「3」の教科があっても「5」の教科があることで基準を満たすことがで

きます。各私立高校の基準をよくご確認ください。

私立推薦入試や併願優遇などで出願基準に明確な内申点の条件がある場合、その条件を満たさなければ受験ができません。都立の受検では、出願条件に内申点などの基準はありません。当日の学力検査の得点と調査書点の合計で合否が決まります。

⑪ 単位制の学校では、単位を落とすと留年するのではなく、次の学年で再度履修すればよいのでしょうか。

単位制高校では、各科目の単位を取得して卒業を目指す仕組みとなります。学年にとらわれず、履修状況によって自由に時間割を組むことができます。ある科目が不合格となった場合は、再履修をすることもできます。基本的には留年はありませんが、卒業に必要な単位がそろわない場合は、卒業が延期になります。詳しくは各高校の説明会でお尋ねください。

⑫ 都立高校で、第2希望以下も出願できる制度はいつからになりますか。

4月22日、一つの高校しか受験できない「単願制」の見直しがニュースに取り上げられました。現時点では情報がないため、お答えすることができません。また情報が入り次第、お伝えすることとなります。

## 資料1 都立高校総合得点の計算の仕方

都立高校総合得点(学力検査の得点700点 + 調査書点300点)の計算の仕方

①学力検査を実施する5教科(国・社・数・理・英)の評定をそのまま足します。

国語	社会	数学	理科	英語	合計
					(ア)

②学力検査を実施しない4教科(音・美・保体・技家)の評定の合計を2倍します。

音楽	美術	保体	技家	合計	2倍
					(イ)

③(ア)+(イ) が換算内申です。

④調査書点は  $300 \times \text{換算内申} \div 65$  で求めることができます。

⑤学力検査を実施する教科(国・社・数・理・英)の当日得点の合計を1.4倍します。

国語	社会	数学	理科	英語	合計	1.4倍

⑥学力検査と調査書点の得点を足したものが総合得点です。

⑦都立高等学校ではスピーキングテスト(ESAT-J)のAからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱い、総合得点に加算されます。(1020点満点)

スピーキングテスト(ESAT-J)評価	A	B	C	D	E	F
都立高等学校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

## 資料2 本校の推薦基準

### 本校の推薦基準

- 社会生活の基本となるルール、すなわち学校のルールを守っている生徒
- 中学生としてふさわしい基本的な生活習慣(時間を守る、遅刻をしない、規則正しい生活など)が確立している生徒
- 挨拶がしっかりとでき、服装・身だしなみが整い、きちんとした礼儀や言葉遣いが身に付いている生徒
- 日々の授業に主体的かつ前向きに取り組む、目的意識をもって、継続して努力している生徒
- 生徒会活動、学級活動、部活動、芸術やスポーツなどの活動で、顕著な活動を行っている生徒
- 学校行事や地域活動に積極的に参加し、意欲的に取り組んでいる生徒
- 集団生活がしっかりとでき、思いやりの心を持ち、自他を大切にして周囲と協調していける生徒
- 人の話をしっかりと受け止め、成長していける生徒



過去3年間(令和4～6年度 卒業生)の進路先一覧

練馬区立石神井西中学校

都立校		私立校(都内)		私立校(都外)
青山	豊島	岩倉	東京立正	秋草学園
井草	戸山	英明フロンティア	桐朋	国学院栃木
大泉	豊多摩	開成	トキワ松学園	駒澤大学苫小牧
大泉桜	中野工業	学習院	豊島学院	埼玉栄
大山	西	慶應義塾女子	日女体二階堂	相模女子
荻窪	練馬	共立女子	日大豊山女子	狭山ヶ丘
清瀬	練馬工業	錦城	日本体育大桜華	西武文理
久留米西	農芸	国立音楽大学附属	日本体育大学荏原	東海大付属甲府
国立	東久留米総合	国本女子	日本大学櫻丘	名古屋経済大学市邨
工芸	東村山	小石川淑徳	日本大学第二	東福岡
小金井北	東村山西	工学院大学附属	日本大学鶴ヶ丘	立教新座
国際	東大和	佼成学園	日本学園	早稲田大学佐賀
国分寺	東大和南	佼成学園女子	八王子	早稲田大学本庄
小平	光丘	國學院	富士見丘	
小平西	日比谷	国学院久我山	藤村女子	
小平南	広尾	国際基督教大	文化学園杉並	
駒場	深川	国土館	法政大学	
鷲宮	府中工科	駒場学園	保善	
石神井	文京	実践学園	堀越	
城東	保谷	品川学藝	明星	広域通信制・単位制・他
新宿	松原	淑徳	明星学園	飛鳥未来
新宿山吹	稔ヶ丘	城北	武蔵野大学	飛鳥未来きずな
神代	武蔵丘	聖徳学園	明治学院東村山	おおぞら
杉並	武蔵野北	昭和第一学園	明治大学中野八王子	クラーク記念国際
杉並工業	芦花	女子美術大付	明治大学明治	清和学園
杉並総合		白梅学園	明治大学付属中野	大智学園
世田谷泉		巣鴨	目黒学院	中央国際高等学校
総合芸術		杉並学院	目黒日本大学	東京文理学院
第四商業		正則学園	目白研心	トライ式
田柄		成蹊	早大高等学院	日本ウェルネス
竹早		専修大附	早稲田実業	野田鎌田専修学校
立川		大成		北海道大空町立大空
田無		大智学園		ヒューマンキャンパス
田無工業		大東学園		明星
多摩科学技術		拓殖大第一		ルネサンス
調布北		立川女子		渡辺
国立・県立校		中央大学杉並		N
函館高専	広島商船	帝京大学		S
陸上自衛隊高等工科	茨城県立大洗	東亜学園		VAW栄光ハイスクール
国立筑波大学駒場	富山県立金沢	東海大菅生		
東京学芸大附属	市立船橋	東京女子学院		

来春、高等学校、専修学校（高等課程）に進学を希望する  
中学3年生と保護者のみなさまへ



# 令和8年度貸付 東京都育英資金のご案内

予約募集

高校等入学後の申込みより早く  
5月から毎月振り込まれます

高校に通うための  
奨学金の貸付（無利子）

私立学校 | 月額 35,000円  
(年額42万円)

国公立学校 | 月額 18,000円  
(年額21万6千円)

## お問い合わせ先

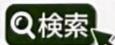


育英資金担当

☎ 03-5206-7929

(受付時間: 土日祝除く 9:15~17:00)

私学財団 育英



[https://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa\\_ikuei/pa\\_ikuei1.html](https://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html)

## 申込受付

学校の担当窓口へ申し込んでください

学校担当: \_\_\_\_\_

申込期限: \_\_\_\_\_

この貸付事業は、東京都の条例にもとづき、(公財)東京都私学財団が実施しています。

※高校等(高等学校・高等専門学校・専修学校(高等課程・専門課程))入学後に貸付の申込みを受け付ける一般募集も実施しています。